

居住性の高さが魅力の ジプシー/オーバーキャン



グ(ひさし)にもなるサイドパネル。風のある日はペグダウンしてやる。ロープ、ペグは付いていない



のパネルを巻き上げると、全面メッシュにする。これ以上の昼寝場所はそうそうないだろう

時のサイズは長さ2m×幅1m30cm×高さ1m。幅はフロントに砂が飛びこむ心配が少ない
同寸になる。

ファーストモデルは、なんと40年近くも前から販売されているというルーフトントが、このオーバーキャンだ。片側にルーフトント、反対側にはカヌーキャリアやサイクルキャリアを装着した写真は、かなり以前からヨーロッパのアウトドア雑誌に掲載されていた。ルーフトントから降ろしてオブションの脚を付ければ通常のテントとして使うこともできる。脚のほかにさまざまなパーツがあり、本国イタリアではかなりメジャーなアウトドア・グッズなのだが、ここ日本ではまるきり無名だった。前出のコロナバスに比べれば(比べること自体かわいそうだが)設置には手間がかかる。しかし、イタリアのおおらかさが各所に感じられ、楽しさいっぱいのテントなのだ。

ルーフトント全般にいえることだが、装着にはルーフトンクやルーフレールの強度チェックが必要不可欠だ。ヨーロッパの頑丈なルーフトンクにはオーバーキャンをダブルで取り付けたりもしているが、日本車の貧弱なルーフトンクでは単体使用が限界だろう。なるだけ均等にルーフトンクに加重するようセッティングするのが望ましい。



フィッシングのベースとしても最適だ。砂浜近くで使っても、テントに砂が飛びこむ心配が少ない



クローズ状態のサイズは長さ2m×幅65cm×高さ30cm。ちなみに重量は45kg。高速走行時には風切り音が多少ある

